

2022年度事業報告

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

当財団は、我が国の科学技術の発展に寄与する研究開発を支援するため、公益財団法人として次の事業を実施いたしました。

1. 事業

(1) 研究助成事業

科学技術に関する調査・研究及びこれらに対する研究助成金の交付

2022年3月に書面での開催した2021年度第4回理事会において承認された2022年度事業計画では、従来の研究助成とは別枠で特別研究助成(詳細は後日検討)を行うとしていたが、6月に開催した理事会にて最終的に以下の様に決定し募集した。2022年度は、研究課題は従来通りとして、財団創立40周年記念事業として助成金額を従来の一件当たり100万円から300万円を上限とし採用し、助成金総額を4,000万円とする。

1) 一般研究課題

課題A:「植物有用成分およびバイオマス資源の高度利用に関わる研究」

課題B:「エレクトロニクス複合材料および次世代実装に関わる研究」

課題C:「持続可能な社会を実現する有機系新素材およびその機能化に関わる研究」

・一般研究課題については、84の大学と研究機関に応募期間を2022年7月21日から9月30日として募集要項を送付し、ホームページ並びに助成財団センターの掲示板にも募集要項を掲載しました。その結果、2022年度の応募件数は68件となりました。なお、初めて国立高等専門学校にも募集を案内し、採用には至りませんでした。1件の応募がありました。

・2022年12月13日に選考委員会を開催し、26件を採択しました。

・交付金額は選考委員会による評価及び応募者の申請金額を考慮した結果、1件当たり120万円～300万円とし、総額で計画金額(4,000万円)を上回る6,080万円となり、不足分についてはハリマ化成グループ(株)より寄付金をいただき対応しました。

・また、コロナ禍の収束により贈呈式が4年ぶりに開催され、40周年記念事業として、①受領者と選考委員による懇談会、並びに ②2件の記念講演 を実施しました。

2) 特別研究課題については、今年度の対象はありませんでした。

(2) 国際研究集会派遣事業

国際研究集会等に出席し発表する研究者を対象に、出張費(渡航費、宿泊費)の援助を行う。出張目的の対象は上記研究課題と同じ。

・2022年度は、コロナ禍も収束傾向にあるためか3件の応募があり、総額で85万円の助成を行いました。

(3) 研究報告集第34集(2019年度助成研究)発行

(4) その他 当財団案内 2022年度版の発行 ホームページの改訂

(5) 研究助成事業および国際研究派遣事業における助成総額(累計)

- ・研究助成事業 870,900,000円
- ・国際研究派遣事業 20,828,683円

合 計 891,728,683円

以 上

事業報告書に係る附属明細書

特段記載する事項はありません。

以 上